

トラ・ゾウ保護基金 設立趣旨書

トラとゾウは、アジア、アフリカにとどまらず、今や地球の野生の世界の象徴となっています。トラやゾウが進化の流れの中で安定して生き続けることは、広大な森林などの生態系とそこに生きる数知れぬ生きものたちの未来に向かう健全さを雄弁に物語るからです。

しかし、彼らの生存は危機にさらされて久しく、存続の機会を確保するための時間はあまりにも限られているといわれています。たとえばベンガルトラやアジアゾウは100年以内に20%の確率で絶滅する見通しとされています。

トラ保護基金とゾウ保護基金は、当初は任意団体として、その後はNPO法人の1プロジェクトとして、トラやゾウの生息地における保全活動へ支援を行なってきました。しかし、ここからさらに飛躍して、一步抜け出したレベルの保全を実現していくためには、保全プログラムの質を高めつつ、支援を継続的なものとし、さらに可能な範囲でその規模を拡大していく必要があります。

そのためには、私たち人間が野生生物の世界に対してとるべき態度を再確認しつつ、生息地保全に取り組む現地の人々との固い信頼関係に基づいた支援のあり方を確立すること、保護基金に対する寄付者のニーズと満足とに真剣に向き合うこと、それらを実現するために一丸となる組織内外の体制作りをすることにこれまでの何倍もの精力を傾ける必要があります。そこで、次の目的のもとにトラ・ゾウ保護基金を設立することとします。

目的

野生の生きものたちの世界。それは、その存在自体に敬意を払い、そっと大切にしておかなければとの思いがはせる世界です。各地域の世界のはたらきがつながり合って、地域から地球規模まで、私たちが生きる環境を実際に支えてくれている存在でもあります。

野生生物と人間が隣り合って暮らす現地で、野生の世界をそっと大切にしておくために、そして未来に続く人間の環境も守ろうと活動している人々がいます。私たちは、彼らをサポートすることで、現地での具体的な対策作りとその実施を実現します。

私たちは、彼らと、野生の世界をそっと大切にしておかなければとの思いを共有しそれを守りたいと願う日本の人々を橋渡しします。このとき、人々の願いは力に変わり、現地での活動を支えることができます。

私たちは、現地で活動する人々と私たちサポーターが会う中で、互いに勇気づけられ、感謝し合う関係が生まれると信じます。そして、日本全体に野生の世界をそっと大切にしたいという思いが広がり、それを守りたいという願いを実現できる社会を創ることをめざします。

2009年（平成21年）6月20日

代表者

住 所

氏 名